



柿の木

平成28年10月14日
花と緑と思いやりひとみ輝く二小の子

▽思いやりのある子ども

▽進んで学ぶ子ども

▽力いっぱい活動する子ども

<http://www.edu.city.koriyama.fukushima.jp/asaka2-e/>

文責 齋藤 和代

学校行事について

9月、10月は学校行事が盛りだくさんです。以前にもお伝えいたしましたが、校外学習や修学旅行、宿泊学習等々。今月末には柿の木祭も実施され、それに向けての準備も、たくさんの学校行事と並行して進められています。

あらためて学校行事について考えてみます。小学校学習指導要領には「学校行事を通して、望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる」としています。学校行事では、一人ひとりの子どもが達成感や成就感、そして自己肯定感を得て、一人の人間として成長を遂げることをねらいとしています。

具体的にはこのようなことが期待されます。

- ① 一つのめあてに向かって全員ががんばることで、仲間意識が生まれる。
- ② 友だちと励まし合ったり、がんばりを認め合ったりすることで、より良い人間関係が育まれる。
- ③ 友だちとの活動の中で、自分のできることを見つけがんばって取り組み、自信を付けることができる。

このような特徴を持つ学校行事を中心とする日本型の教育は、近年アラブ諸国をはじめ諸外国から注目されています。



みんなの知恵と力を合わせて、山の中をフィールドワーク



係で協力し合い、キャンドルファイア一大成功

特に宿泊学習についてこれを当てはめて考えてみます。9月には5年生が2泊3日の宿泊学習、先日は4年生が1泊2日の宿泊学習を経験しました。事前にはたくさんの不安や期待があったと思います。

日頃的环境と違う所で、一緒に宿泊をして、楽しいひとときを過ごしたいというめあてに向かって、自然の家に行くとがんばります。班長さんや副班長さんを中心により良く活動しようとしています。(続く)

班ごとに野外を探検する際には、班の中で意見が合わず葛藤があったりいざこざがあったりということがよくあります。教科書に答えが書いてあったりしません。しかし、話し合う中で良い考えが浮かんだり他の人の考えに共感したりということがあります。教室では見えてこない他の人の素晴らしさが見えたりします。

今年の5年生の野外炊飯では、火をおこすことから始めました。心配しましたが、得意な人はいるものです。料理の手際が良い人もいます。失敗もたくさんありましたが、みんなで得意なことを認め合って作ったカレーは格別だったと思います。

見学場所や自然の家に行くと初めてお会いする方がたくさんいます。きちんとあいさつができるコミュニケーション能力が高い子は素敵です。みんなで一緒にお風呂に入りますが、きちんとマナーを守ったり、ぬれてしまった床を進んで拭くなど後始末ができたりする子も素敵でした。

そういうところを認めたり見習ったりすることで、公共心を養うことができます。自然の家では入所の集いから始まりキャンドルファイアーなど集いがいろいろあります。担当になった児童は、会の進行や内容について自分たちで考え、みんなをきちんとするようにがんばったり、楽しく過ごしてもらえるように企画を立ててがんばったりしました。うまくできたときには「係になって良かった」というつぶやきも聞こえ、自信を深めていました。

児童には一人ひとり班の中で必ず係があり、いつもとは違う場所でもみんなが楽しく生活できるように心がける様子が見られました。

とはいえ、行事を組めば必ずめあてが達成するというものではなく、先生方は目の前の子どもたちのために、より良いものにするために、事前にいろいろ考えます。そして、より良い活動にするために、支援をしていきます。

週の予定

月 日	曜日	行 事	1年	2年	3年	4年	5年	6年
10月17日	月		5	5	5	5	5	5
18日	火	○B4日程 1～5年生12時下校 ○6年生お弁当の日 ○就学時健康診断・子育て講座	4	4	4	4	4	4
19日	水		5	5	5	6	6	6
20日	木	○校外学習1年生 ○家庭教育学級おやつづくり教室	5	5	5	6	6	6
21日	金		4	5	5	5	5	5
22日	土	○週休日 ○安積地区市民文化祭	・	・	・	・	・	・
23日	日	○週休日	・	・	・	・	・	・